



Rotary 関ロータリークラブ

2017-18年度国際ロータリーテーマ RI会長 イアンH.S.ライズリー
 『ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE』
 2017-18年度 関ロータリークラブ会長 テーマ
 『温故(50)知新』 52代会長 後藤信介

■会長 後藤信介 ■副会長 土屋佳久 ■幹事 岩倉宏幸



D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT

本日のプログラム 第2466回例会 2017年7月1日(土)

「通常総会・懇親会」 於：日本料理 だいえい



ロータリー：
変化をもたらす

前例会の記録・第2465回 6月20日(火)12:30

「これからの農業情勢について」

めぐみの農業協同組合 組合長 山内清久様

◆開会点鐘

◆「それでこそロータリー」斉唱

◆ビジター紹介

めぐみの農業協同組合 組合長 山内清久様

東海北陸道グループ ガバナー補佐 横山隆一郎様

〃

次期ガバナー補佐 伊佐地金嗣様

◆会長挨拶



皆さんこんにちは

本日は、めぐみの農業協同組合 組合長 山内清久様にお話を頂きます。また、東海北陸道グループ ガバナー補佐 横山隆一郎様、次期ガバナー補佐 伊佐地金嗣様にお越しいただきました。

実を申しますと、私の祖父は京都市の農業機関を長年しており、その後、関市に戻り関農協の初代組合長をしております。ずーっとし続けるつもりだったと言うことですが、西村さんに負け退職しています。それ以後も、風邪を引けば組合の置き薬、おなかを壊しても組合の置き薬でお世話になり、百姓で使う農薬、肥料すべてにクミアイマークが付いていました。元々農協は、相互扶助により農民の生活向上を狙い始まったと聞いております。いわゆるロータリーで言う親睦に近い概念があると考えております。私も農協組合員ですが、今後の農業行政がとても気になります。山内組合長よろしくお願いいいたします。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 岩本雅文

会員45名中 出席26名 出席率 60.47%

◎ニコボックス委員会 委員長 林昇

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は、JAめぐみの組合長 山内清久様、東海北陸道グループ ガバナー補佐 横山隆一郎様、同じく次期ガバナー補佐 伊佐地金嗣様にお越しいただきました。お忙しい中、まこ

とに有難うございます。後程、山内組合長には卓話をお願いしておりますのでよろしくお願い致します。本年度の最終例会となります。創立50周年の節目の年を無事終了することができました。皆様のご協力の賜物と感謝申し上げる次第であります。

ガバナー補佐 横山隆一郎様・・・一年間お世話になりました。

次期ガバナー補佐 伊佐地金嗣様・・・次期ガバナー補佐を拝命しました。よろしくお願い致します。

林隆一さん・・・山内組合長様、本日はRCでの卓話ご苦勞様です。いつもは、JA理事会でお世話になって

います。林隆一さん・・・横山隆一郎AGのご来訪を歓迎致します。一年間ご苦勞様でした。

山谷、岩倉、長尾、加藤(照)、加藤(浩)、林(昇)の皆さん・・・JAめぐみの 組合長 山内清久様ようこそ関RCへ、お忙しい中卓話をお引き受けいただきありがとうございます。これからの農業のお話、楽しみにしていますので、よろしくお願い致します。

今峰徹さん・・・妻へのバースデーカードありがとうございます。

三輪雄彦さん・・・バースデーカード有難うございました。50歳になりました。50歳を機に御朱印収集を始めました。益々元気に頑張ります。

大岩寿喜子さん・・・お誕生日カード 有難うございました。楽しく、美しく年を重ねていきたいです。

◆「これからの農業情勢について」

めぐみの農業協同組合 組合長 山内清久様



JAめぐみのの取り組み

1. 組織の概要

名称：めぐみの農業協同組合
 (本店：岐阜県関市若草通1-1)
 誕生：平成15年4月1日(旧5JAが合併)

名称の由来：「めぐみの」という名称は、合併前に全国から一般応募して、その中から選考し

て決めました。恵み豊かな美濃地方の意味を持ち、“芽ぐむ”ということから新鮮なイメージに、また地域の皆さんへ“自然の恵み”を届けるという思いも込められています。

《組合員数》

正組合員 30,114人 准組合員 30,712人

合計 60,826人

《職員数（パート含まず）》

正職員 1,005人 準職員 395人

合計 1,400人（平成29年3月末現在）

・地域の概況

○県土の約23% ○気温の高低差が大きい

《管内エリア》

・関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・加茂郡（坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村）・可児郡（御嵩町）人口は約38万人

2. 管内の特産品

円空さといも・明方ハム・ひるがの高原だいこん・堂上蜂屋柿・美濃白川茶・トマト・なす・いちご 管内は高低差が大きく、北部と南部ではかなりの気温差があります。そうした自然環境等を利用して、お米以外にも様々な農産物や加工品が作られています。

3. 特色ある取り組み

①ふれあい感謝デーの実施

東北支援でさんまの食べ放題・園児を招いての餅つき大会・女性部作品、農業体験写真の展示

②全地域において農業祭、産業祭の開催

農業祭での餅まき・野菜の対面販売

③食農、食育活動

夏休みに農業体験を実施（平成15年～）・食農活動で農林水産大臣賞を受賞・平成26年度、農林水産省主催による第2回「食と農林漁業の食育優良活動表彰」で農林水産大臣賞を受賞

④地産地消の活動→直売所

農産物直売所「とれったひろば」が管内に2店舗あります。店内には毎日「安全・安心・新鮮」をモットーに農家が収穫した農産物が並び、珍しい農産物の食べ方や食農にかかわる様々なイベントを、一年を通して行います。

⑤新規就農者育成で「就農塾」を開講（平成19年～）

これまで259人が受講し161人が就農。就農者の約半数が生産部会等に参加して、専業農家となっています。

⑥女性部と一体となった食と農の活動

女性部の「まめなかな運動」（岐阜方言の「まめなかな」＝『お元気ですか』と大豆の豆を組み合わせた言葉、小学生に大豆を栽培してもらい、豆腐などの加工教室で食農を学んでもらいます。28年度は、50校に大豆を配り、女性部員が講師となって、25小学校で加工教室を開きました。

⑦高齢者との交流

グランドゴルフ大会や※年金友の会の統一親睦旅行、シニア向けゴルフ大会など実施 ※年金友の会・・・JAで年金を受け取っている方、会員数37,963人

⑧夏の盆踊り大会

⑨出向く農業講座

中学生リーダー養成研修講座・県農業大学校での農業情勢講義

⑩JAの集い歌謡ショー（4地域で開催）

有名歌手を招いて開催

⑪災害時における相互応援に関する協定

豪雨や震災などの災害時に、各市町村と情報を共有し、被害状況の把握や食料品や生活用品の支援、物資の運搬などの人的支援をする協定を、2011年に管内の全市町村（5市8町村）と締結したほか、2012年には、大規模な災害時に、体の不自由な方が非難する施設として、デイサービスセンターを利用してもらう協定も結んでいます。

⑫高齢者見守りネットワーク事業、子供の見守り活動

高齢者見守りネットワーク事業

美濃加茂市、富加町と協定

「こども110番の家」…123施設

「こども110番の車」…686台

高齢者が地域で安全、安心して暮らせるように、地域社会全体で見守っていく行政の「高齢者見守りネットワーク事業」の協定を2013年に締結したほか、同じく同年に、全支店、営業所を「こども110番の家」、全車両を「こども110番の車」として、見守り活動を始めました。

⑬中部学院大学・短大と包括的連携協定締結

地域経済の活性化や農業の活性化、高齢者福祉事業の協力を行うために中部学院大学・同短期大学と包括的連携協定を結んでいます。大学ゼミ（美濃白川茶の販売研究）の実施やインターンシップの受け入れなどの取り組みを行っています。

⑭小学生を対象としたサッカー大会、野球大会 JAめぐみのカップ少年サッカー大会を毎年開いています。めぐみの旗争奪学童野球大会を毎年開いています。

⑮その他の取り組み

《セレモニー事業》

平成17年に立ち上げた新しい事業。現在までに、恵昇苑みのかも、恵昇苑郡上、恵昇苑おくみの3店舗を建設し、年々利用者が増加しています。

《介護事業》

平成3年に介護器具の販売、レンタル事業を開始。現在では、訪問介護や、通所介護事業（あんしん郡上、あんしんみのかも、あんしんみたけ）など、高齢福祉にかかるさまざまな事業を手掛けています。

《自動車事業》

自動車の販売から、車検、点検、修理まで手掛けています。近年では、平成20年に整備工場のオートケア可児を、平成23年にはオートケア関を建設。新、中古車の販売イベントも年に数回催しています。

◆幹事報告

◎7月の例会予定表配布

◎例会変更通知

・各務原かかみのRC

次例会のご案内 7月9日（日）

「納涼例会・BBQ」ふる里農園 美の関

担当：親睦活動委員会 7/11（火）の変更

例会：毎週火曜日 12:30

例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F